「子どものための学校事務」113号

特集：学校事務職員の役割を問う

～共同実施の実相をさぐる～

「共同実施」には、いろんな顔があります。その正体を知るには、その渦中で奮闘している方々の生の声が一番です。立場によって、同じ渦中にいても異なる見解を持つ方もいるでしょう。さまざまな角度から、見ることが大切だと思います。

今号が、その「入口」となってくれれば、とても嬉しいです。学校の統廃合や各自治体の共同実施などにより、全国で正規学校事務職員が少なくなり、未配置校が増えているというのは間違いない客観的な事実です。

しかし、どんな状況にあっても「教育としての学校事務」を担う学校事務職員の役割は重く、大きい！

１１１号を読まれてない人は、ぜひ、こちらもお読み下さい

目　　次

＜特集：学校事務職員の役割を問う
～共同実施の実相をさぐる～＞
■特集にあたって
■共同実施で起こっていること
▷共同実施から見えてくるもの
▷共同実施なんかさっさと終わらせて学校に帰ろう
▷広島市の学校事務センター開設をめぐって
▷共同実施の中での7年間　他
■横浜市の共同実施を語る
－「横浜型共同実施」のゆくえ－
■資料から見る大分県の共同実施の姿
■学校の姿と学校事務職員の役割
■「共同実施」各地の動き～全国委員会へのたよりから～
■大橋講演（会誌111号：今、学校にいることの意味）を読んで
▷学校事務の仕事でやりがいを感じるのは
▷学校にいる事務職員がやらなければいけないこと
それを今考えること
▷私の「憂鬱」
▷教育としての学校事務の側からの研究を
▷私たちの仕事の使命はどこに

■東日本大震災と福島原子力発電所事故
－子どもたちと教職員の状況－
■制度研　冬の集会in滋賀
第1部　講演　学校統廃合問題の現状と課題
第2部　座談会　お金のことをみんなで話せる学校に
■全国学災連第31回記念シンポジウム
－中学校武道必修化で子どもは安全か－

2011年6月30日発行
A5判　64ページ
500円　（送料160円）
編集・発行　全国学校事務職員制度研究会

注文はこちらへ

■ 神奈川県横浜市立すすき野中学校　植松直人
〒２２５－００２１
神奈川県横浜市青葉区すすき野３－４－３
TEL 045-901-5896 FAX 045-904-2439
■ http://www.bekkoame.ne.jp/ha/seidoken/
（「制度研」で検索できます）
■ E-mail seidoken@ha.bekkoame.ne.jp